

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川 建三

# JR東労組

# 本部OB会

# ニュース

No.241 2017年4月発行

## 「森友学園」 疑惑の安倍首相が狙う

# 「共謀罪」の成立を阻止しよう!

今年1月20日から開かれている第193通常国会は、「本部OB会ニュース・2月号」で既報の通り、「天皇陛下の退位に関する特別法案」や「組織犯罪処罰法改正案」、「働き方改革」関連法案など重要法案がひしめいて、与野党による熱い国会論議が繰り広げられる予定でした。

しかし、2月上旬に大阪市の学校法人「森友学園」が豊中市での小学校建設を巡る国有地の激安払い下げ問題に火が付き、大阪維新の会や安倍首相の昭恵夫人の関与や首相の100万円寄付疑惑などで「真相究明」を求めると野党の攻防が続いており、重要法案の表立った審議は進んでおりません。

その一方で自民党政府は、一日も早くこの「森友学園」を巡る問題を終息させ、6月会期末までに重要法案の成立をはかる企てを進めております。特に「テロ」の名を借りた「共謀罪」は、国民を監視社会下ににおく危険なものであり、絶対に廃案にしなければなりません。

### 「テロ等準備罪」とは

政府自民党が今国会で成立させようとしている「組織犯罪処罰法改正案」は、「組織的犯罪集団」が重大犯罪を2人以上が計画し、その内少なくとも一人が準備行為をした段階で、その計画に加わったものを処罰するという「テロ準備罪法」を新設する内容になっています。

今回新設しようとしている「テロ準備罪法案」は、当初676の罪から成り立っており、慎重論をとっていた公明党を引き入れるために要望を取り入れて277へと絞り込んだものの、その内テロに関係するものは4割弱の110に過ぎません。まさに「テロ」とは名ばかりのものに過ぎません。ここに国家権力の恣意的な判断で労働組合や市民団体、あるいは時の政府の政策に反対するグループなどが取締りの対象にされる危険性が大きいにあ

り、過去に三度廃案になった「共謀罪」と何ら変わらないものなのです。

### 「テロ等準備罪」の対象となる「重大犯罪」

テロに関する罪 (110)	組織的な殺人、放火、ハイジャック 拳銃の発射、サリンの発散、毒物混入
薬物に関する罪 (29)	覚醒剤や大麻、ヘロイン等の輸出入・譲渡
人身に関する罪 (28)	人身売買、集団密航者を不法入国させる行為、強制労働、児童買春、臓器売買
資金源に関する罪 (101)	組織的な詐欺・恐喝・高利子の契約 通貨・有価証券偽造・マネーロンダリング
司法妨害に関する罪 (9)	偽証、組織的な犯罪の証拠隠滅、逃亡援助

### 安倍政権の狙いは 監視社会

安倍首相は首相在任中に何としても「憲法改正」を成し遂げようと、今まで一党独裁を背景にした国会運営で、数々の重要法案を成立させてきました。

2013年には「特定秘密保護法」を成立させ、翌年に実施しました。また昨年「刑事司法改革法」に、盗聴法の拡大や司法取引などを加えました。

既に今日の日本では、町の至る所や、人の集まる所には「防犯カメラ」が大量に設置されており、いつでも警察が「捜査」を理由に見ています。また道路でも、顔認識システムと連動した監視カメラや自動車のナンバープレートを読み取るNシステムがあり、警察が活用しています。

この様に日本の国民は、日常生活から不断にプライバシー侵害の監視下に置かれているのです。その上に更に「テロ」の名を借りて実質上の「共謀罪」を新設して、憲法改正後の日本を想定して完全な監視社会をつくらうとしているのです。

### 今こそ反撃の第1歩を

今多くの国民は、「森友学園」疑惑にまみれた安倍内閣を追い詰める闘いに注目をしています。そしてこの力で国民を弾圧する「共謀罪」の成立を阻止する決意を固めています。JR東労組OB会もがんばりましょう!

千葉地本OB会は、2月19日と20日の両日、地本OB会結成以来初めての泊幹事会を開催しました。

### 千葉地本OB会 初の泊幹事会で花嫁街道踏査

「花嫁街道」踏査は、ガイドの相川さんから説明を受けながら、急勾配や連続する登りの道を歩き続け、宿特製の弁

を第2展望台で美味しくとった後、新日本百名山の「烏場山」などをまわって無事下山しました。花嫁街道は、噂どおりの楽しいハイキングコースでした。

この泊幹事会には、本部OB会から大熊顧問を始め廣瀬副会長、川崎事務局次長の3名が来賓として参加し、総勢16名の会議となりました。

1日目は、地本OB会幹事の相川好夫さんが昨年の「全国高齢者集会」で30数年間のボランティア活動として発表した「花嫁街道」の踏査を行いました。

この日参加者は南房総市和田町の宿泊施設「自然のさとくすの木」に集合し、その内14名が12時20分に花嫁街道の入り口から踏査に出発しました。

宿での夕食会では、相川さんから自慢の「クジラの刺身」や「サンマの丸干し」の差し入れがあり、参加者からも「相撲甚句」や「山歩きの極意の伝授」などがあって、大いに盛り上がり、一気に役員懇親が深まりました。

2日目は午前9時から第7回の幹事会を開催し、当面する本部OB会および地本OB会の取り組みを確認しました。

その後、本部OB会の大熊顧問より「OB会は何をなすべきか」の問題提起を受け、全員でしっかり受け止めた後散会となりました。

今回泊幹事会の会場となった「自然のさとくすの木」は、廃校になった小学校を利用した市営の宿泊施設でした。そこで一晩語り合った初めての泊幹事会、役員間の懇親を深め団結を強化した有意義なものになりました。



### 八王子で講演会と 演芸で大盛り上がり

3月18日八王子地本OB会が65名の参加者で「春の集い」を開催しました。

第一部は田城前議員の講演で、高齢者を犠牲にして若者の人気取りを狙う安倍政権の反動性を暴露しました。

第二部は懇親会で、昨年山梨県退職者連合の会長に就任した甲府支部OB会に加藤秀八さんのお祝いを兼ねて開催され、3名の会員によるハーモニカと尺八の演奏と安来節の踊りが披露されました。参加者からは、「来年は俺も出たい」と申し入れもあり今後検討していく事になりました。



初の「春の集い」は尺八の演奏で「北国の春」を合唱して楽しい一日を過ごしました。

ると、近所のおばちゃんがソックスと教えてくれました。

地域で活動していてつくづく思った事は、現役時代に地本副委員長を経験した事が、今になって本場に役立っているとの事でした。



何時も地域の住民を見守る金子さんは高齢化社会の中で、明るく闊達な人柄で、地域には欠かせぬ存在です。

(長野県坂城町在住・金子万文・67歳)

### 日本退職者連合が

### 「人生100年を生きるしくみ」で学習会

日本退職者連合は3月7日13時30分より連合本部会議室で、「男女平等等参画推進のための第6回学習会」を開催しました。

学習会には、今までにない過去最高の150名が参加し、補助席を設けての開催となりました。JR総連OB連絡会からも、JR東労組OB会と貨物労組OB会から6名が参加しました。

この学習会は、女性組合員が働きやすい労働環境を積極的に作っていくために日本退職者連合内につくられた委員会です。今年が初めてで主催者もびっくりしていました。

講師は、東京家政大学名誉教授で女性未来研究所長もされている樋口恵子さんと、2度目の学習会での講演です。

男女平等参画委員会の人見一夫委員長のあいさつ後、84歳の樋口恵子さんが立ったまま参加者の笑いを誘いながら、2時間の講演を行いました。

講師の樋口恵子さんは、女性の目線から講演され「これからの超高齢化社会の主役は女性で、2050年には日本の平均寿命は女性が90・29歳、男性が83・55歳となる、従って介護保険も男性より女性が多く使う。高齢女性の健康の三大要素は、食生活・運動・社会参加だ、もっと女性が社会進出していくには、男性の理解と共に女性が働きやすい環境

を更に向上させる必要がある。その為にも女性組合員の組合活動への参画が大切になってくる」と訴え、日本退職者連合への期待も表明されました。とにかく2時間立ちっぱなしで、参加者の笑いを取りながらエネルギーに話す年齢を感じさせない樋口恵子さんには、女性ならずとも男性も脱帽で、参加者全員納得顔で会場を後にしました。

### OB会員証が 新しくなります

本部OB会結成20周年を契機に内容を刷新します。

形状も縦から横へ

### 「我らの声」(第18号)

現在販売中!

購読申し込みは 各地本OB会へ

頒価 500円